

2007 年度 実務家教員募集概要

日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科

日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科では、下記のとおり実務家教員を募集します。

実務家教員とは、保健・医療・保育・行政などの広義の福祉現場の高度専門職業人のモデルとなるような先駆的で優れた実践をしている方で、社会福祉学研究科における「実践から学ぶ教育」に非常勤教員として携わっていただく方をいいます。

1. 募集人員

30名程度

2. 職名

日本福祉大学大学院非常勤講師（「大学院 GP 実務家教員」などの通称の使用もできる。）

3. 担当業務と勤務形態等

実務家教員は、以下の業務のいずれか、または複数を担当する。

1) ケース教材の執筆

討論重視型のケース教材を用いた演習で使用するケース教材 の執筆。

詳細は別紙 1.1)「ケース教材とは」を参照してください。

【勤務形態】

執筆作業は在宅で可能。但し、5.応募資格に示す説明会・勉強会への参加は必要。

2) 大学院の授業の担当

ケース教材を用いた演習

ケースの提供、グループ討議でのファシリテーター、発表会に対するコメンテーター、成績評価(案)作成等。

詳細は別紙 1.2)「ケース教材を用いた演習とは」を参照してください。

【勤務形態】

演習の開講予定は、2008 年度前期(4月～7月)および後期(9月～1月)の、金曜日夜間(18:15～)または土曜日(9:20～18:05)。担当回数は1講義(90分)を1～10回程度。

具体的な日時・担当回数は調整。

先駆的事例を紹介するリレー講義

先駆的で優れた実践経験の紹介、受講生が提出するレポートの添削・評価。

【勤務形態】

講義の開講予定は、2008 年度前期(4月～7月)および後期(9月～1月)の、土曜日または日曜日(9:20～18:05)。担当回数は1講義(90分)を1～2回程度。

具体的な日時・担当回数は調整。

3) インターンシップの受入れ・指導

インターシップフィールドの提供、院生の受入れ、スーパーバイザーとしての指導

【勤務形態】

インターシップの受入れ期間

具体的な日時は調整。

4. 応募資格 / 条件

- 1) 福祉・保健・医療分野で実務（事業所経営も含む）に従事している方
- 2) 原則として修士学位をお持ちの方（2008年3月取得予定者を含む）
- 3) 実務家教員（候補者）向け説明会に参加可能であること

但し、やむを得ない事情により参加できない場合は、別途ご相談ください。

日時：2008年2月16日(土)14:00～17:00、場所：日本福祉大学 名古屋キャンパス

[以下、該当者のみ適用]

- 4) ケースメソッド研修（予定）に参加可能であること

但し、やむを得ない事情により参加できない場合は、別途ご相談ください。

「3.1) ケース教材の執筆」の担当を希望する方は ~ の研修会に、

「3.2) ケース教材を用いた演習」の担当を希望する方は の研修会に参加可能であること。

日時：2008年3月4日(火)または13日(木)

「ケースメソッド教授法ワークショップ」、場所：慶応大学（三田校舎）

日時：2008年3月22(土)、23(日)日 場所：名古屋キャンパス

「ケース教材ライティングワークショップ」場所：日本福祉大学 名古屋キャンパス

日時：2008年5,7,9月頃に3回程度開催予定

「ケース教材開発のためのワークショップ」場所：日本福祉大学 名古屋キャンパス

<備考> 上記3)と4)に関わる参加費、交通費は本学が負担します。

5. 応募書類

- 1) 申込書1 [所定書式]
- 2) 申込書2 [所定書式]
- 3) ケースレポート [所定書式]

詳細は別紙2.「ケースレポート執筆要項」を参照してください。

実務家教員として採用されたときは、本学大学院の授業でケース教材として使用することがあります。

6. 応募書類の提出方法

郵送または大学院事務室へ持参（下記10.参照）

7. 応募〆切

2008年1月8日(火) 郵送の場合は期日必着。大学院事務室へ持参の場合は**17:00までに提出**。

8. 選考

応募書類（主に「ケースレポート」の内容）に基づき、ミクロ（事例）レベルとメゾ（事業所・地域）レベル、保健・医療・福祉・介護・社協・NPOなどの分野を考慮して選考し、採否を決定します。

なお、採用の場合でもご希望の業務と異なる結果となる場合がありますので予めご了承下さい。

採否通知：2008年1月21日(月)[予定]

9. 手当等

- 1) 実務家教員採用者全員が対象

ケース提供謝金（ケースに関するヒアリング含む）・・・5万円(税別)

今回の応募に当たってご提出いただいたケースレポートを本学大学院が教材として使用することを許諾頂いた方。

- 2) 採用後の手当・謝金については、担当していただく業務により異なります。採用通知の後に、別途ご説明させていただきます。

10. 問合せ・申し込み先

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

日本福祉大学 大学院事務室 実務家教員募集係

E-mail:swjim@ml.n-fukushi.ac.jp TEL(052)242-3022

以上

別紙

1. ケース教材とは・ケースを用いた演習とは

1) ケース教材とは

現場での実践経験に基づき、倫理上、個人情報保護の観点から問題のない範囲で 実際の出来事が記され そのケースを用いることの訓練主題が含まれており 訓練に必要な情報がケースに盛り込まれており 読み手が登場人物の立場に立って考えられるように書かれているもの。

2) ケース教材を用いた演習とは

ケース教材を用いた演習では、ケース教材を用いて討論を行います。ケース教材には基本的に事実しか書かれていないため、それをどのような枠組みで理解し、意味づけするのかを討論を通して構築していきます。講師のリードを受けながら参加者全員で、その事実の背景にある顕在的・潜在的な要因を議論し、解決策を相互に模索し、自らの意思決定力を向上させます。

このような知的訓練を繰り返すことで、多面的に問題を構造化し、分析力や問題解決能力を高めます。

2. ケースレポート執筆要項

目的

福祉分野のロールモデルになりうるような先駆的实践や、地道な活動により効果をあげている実践、課題に直面している困難を克服した実践など、福祉現場における優れた実践例を大学院教育の教材として活用するとともに、実践者を実務家教員として採用するため。

執筆概要

次の2つのレベルから一つを選択し、テーマを具体的に設定します。

A. ミクロ(症例)レベル、 B. メゾ(チーム、事業所、施設、地域)レベル

タイトル例:

- ・急性期病床における退院支援専任看護師配置のメリット
- ~在宅復帰率、病床利用率などアウトカム指標改善例~
- ・重度要介護者でありながら海外旅行を実現したケース
- ・夫との死別後に閉じこもりとなっていた認知症高齢者を閉じこもりから解放したケース
- ・主治医が入院させようとしたにもかかわらず本人・家族の意向を尊重してグループホームでの看取りを実現したケース
- ・地域住民から「不審な行動がある・入院させて欲しい」という相談をきっかけに支援に入り精神障害者の就労を実現したケース
- ・地域住民の反対にあいながら精神障害者のグループホームを建設したケース
- ・撤退する営利企業の介護サービス事業者から利用者を引きついで起業したケース
- ・自ら NPO 法人を立ち上げ、デイサービスセンターを開設したケース
- ・MSW が中心となり病院と地域を結ぶ児童虐待予防システムを立ち上げたケース
- ・高齢者虐待対策を先駆的なモデル事業として立ち上げ、正規事業に育てたケース など

執筆内容

形式は自由。実践現場でケース教材となるような先駆的な、効果を上げている(あるいは困難な状況を克服した)取り組み、成果、課題等を記述します。終了した取り組みでも、現在手がけているものでも構いません。基本的には事実の記載ですが、倫理上、個人情報保護の観点から事業所が特定できないようにアレンジすることは可能です。ケースの「売り」「学んでもらいたいこと」を明らかにしながら自由に記述してください。ただし、ケースには旬が求められるので、5年以内の取り組みとします。

文字数：A 4版、2,000~3,000字程度 ワードプロを使用すること。

以上